

千葉県知事 森田 健作 様

令和2年 2月28日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
執行役員千葉本部長
村木 正大

事業所名	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 千葉本部	
所在地	〒260-8505 千葉県千葉市中央区千葉港8-4	
代表者名	執行役員千葉本部長 村木 正大	
担当窓口	千葉業務部 課長代理 立尾 健太郎	
本部体制	部・支店 5、営業課・支社 13、保険金サービス課 9。 社員数（含むTA）約 900 名。 専業代理店の会 95 会員、整備工場代理店の会 165 会員。	
事業概要	創業	明治 21（1888）年 10 月
	事業内容	損害保険業
	資本金	700 億円
	総資産	7 兆 5,158 億円
全社ベース	正味収入保険料	2 兆 1,486 億円（2018 年度）
平成 28 年 3 月末	従業員数	26,108 名
現在	事業所（国内拠点）	営業部・支店 127、営業課・支社・営業所 556、 保険金サービス拠点 275

令和2年度 年間計画書

私たち損害保険ジャパン日本興亜株式会社 千葉本部では、県内全域において、千葉県最大規模の損害保険会社として全体制をあげて、日々の営業活動・事業活動のみならず通勤途上などあらゆる状況において、「高齢者の見守り」・「ちばSSKプロジェクトの普及促進」・「認知症対策」等に取り組んでまいります。

I. 高齢者の見守り

当社職員はもとより関連代理店は、日々の営業活動において各家庭や事業所に電話・訪問を繰り返しておりますが、移動時を含めたすべての機会を高齢者見守りの好機と捉え、高齢者が安心安全な毎日を送っていただけるようサポートいたします。

県内各市町村と「高齢者見守りネットワーク協定」を締結し、何らかの異変を

察知した場合には即座に市や地域包括支援センターなどに通報し連携します。万一異変を発見した際の連絡先として、千葉市内については「高齢者見守りポケットカード」を、当社店舗・事務所には所在する市の「包括支援センター一覧表」を配布して、通報時に機敏な行動ができるようにします。

II. 「ちばSSKプロジェクト」の普及啓発

- ・ 県の高齢者孤立化防止の取組みに賛同して自発的な地域貢献に努めるだけでなく、ポスターを作成して店頭に掲示、チラシを作成して一般の皆様へ配布、名刺にSSKロゴのシールを貼付するなど、「ちばSSKプロジェクト」そのものの認知度を向上させ、関連の諸取組みがより充実するよう努めます。
- ・ 地元のFM放送局ベイエフエムの当社提供番組「SompoJapanNipponKoa presents 田中美里のMorning Cruisin'」で流すスポットCMで「ちばSSKプロジェクト」を紹介します。
- ・ 取引先法人（協力代理店等）にも本プロジェクト活動を紹介して、協力を得られる場合は「協力店」として登録・活動していただきます。

III. 認知症対策

認知症の正しい知識習得がすべての活動の基礎と捉え、新入職員研修のカリキュラムに取り込み、また、定期的に社内「認知症サポーター養成講座」を開催し、全職員の認知症サポーター資格取得に向けて取り組みます。取引先企業・協力代理店の認知症サポーター資格者の増加に努めます。昨年に引き続き、社内キャラバンメイトの千葉県内での資格者拡大に努めます。当社グループとして取り組みを開始した認知症サポートプログラムを活用して、早期発見、発生予防など啓発を行っていきます。

IV. 高齢者の生きがい、健康、仲間作り

県や市区町村の健康づくりに関する活動に出来る範囲で協力します。千葉市老人クラブ連合会の賛助会員となったので、老人クラブ連合会と連携し、高齢者への支援を行います。

V. 高齢者の安心・安全

本業である自動車保険関連のノウハウを活かした『シニアドライバー交通安全講習会』を実施して、高齢者の安全を図り、安心感を高めます。地域企業との共催など新たな取り組みを開始したいと考えております。

以上